



社会福祉法人 長野県社会福祉協議会

「福祉だより信州」は共同募金の
配分金で発行されています。



昭和27年1月11日
第三種郵便物認可第750号
平成29年12月25日発行
(毎月25日発行)

福祉だより 信州



CONTENTS

今月のフクシくん	2
県社協からのイチオシ情報	4
公益事業の推進に向けて	6
WEB INFORMATION	7
住民主体の福祉活動	8

長野県
ふっころ
長野県社会福祉協議会
公民キャラクター

長野市出身。妹が重症心身障害児だったことや、自身が臨床心理士のカウンセリングを受けていた経験から長野大学社会福祉学部に進学。大学3年時に長野市社協の地域福祉課で約1カ月間の実習をし、社協の仕事に興味をもつ。また、利用者とのコミュニケーションや介護を学びたい気持ちから、平成27年4月に長野市社協に入職し、介護現場の生活相談員に。

社協は黒子のような存在。
そのなかで施設の連携を支える責任とやりがい。



今月のフクシくん

毎月福祉の現場で活躍する若手スタッフをご紹介します。

長野市社会福祉協議会
篠ノ井介護サービスセンター
通所介護事業所
生活相談員兼介護員

上平祥平さん

webでも
ご覧いただけます



さまざまな介護の現場で活躍する生活相談員。施設の新規利用者の受け入れや調整、利用契約に関する手続き、利用者・家族との相談業務、ケアマネジャーとの連絡や他機関との連携など、その仕事は多岐にわたっています。

「施設全体が連携していくなかで、何でも屋のような、つなぎ役だと思っています」と話すのは、長野市社協篠ノ井デイサービスセンターで生活相談員として働く上平祥平さん。妹が障がいをもっていたため昔から福祉を身近に感じ、また、かつて自身も臨床心理士のカウンセリングを受けていたことから福祉の仕事をめざすようになり

ました。そして、大学の实習で長野市社協を訪れ、社協の仕事に興味をもったと言います。

「普段、生活するなかでは気付かなかった金銭や介護に困っている人の存在、そして多様な社会の課題を社協の実習を通じて知りました。また、実習の担当者から『社協は黒子のような存在』と言われ、今までも気付かないところで福祉の恩恵を受けていたのではないかと思い、地域の人や専門職をつなぎながら支援する仕事は難しそうだけどやりがいがあると感じました」
こうして、入職3年目となる上平さん。今年から管理者が変わり、仕事にも変化が生まれたと言います。

「管理者が利用者や家族に持病の薬や緊急時の対応、家族への連絡など細部まで確認をしているのを見て、それまで私は契約時に利用者の上部しか見ておらず、甘い部分があったと気付きました」

こうした経験から、今はより丁寧な相談業務に努めている上平さん。今後は地域の人にもっとこのデイサービスセンターを知ってもらい、地域に向いていく実力をつけたいと話します。周囲を観察してよりよい介護を探り、サービスを向上を図る生活相談員の仕事。上平さんは利用者や職員、そして地域をつなぐ架け橋として、その仕事に全力を注いでいます。



利用者とのコミュニケーションや職員同士の連絡をこまめに取るよう心がけている上平さん。職場は明るく、何かあればすぐに相談し合える雰囲気です。また、利用者の素直な反応や家族からの感謝をダイレクトに感じられる仕事にもやりがいを感じています。とはいえ、仕事に夢中で「気付いたら3年経っていた」印象なのだそうです。

疑問から問題解決を図る
独自の視点が大切

この仕事はどんなことでも質問や疑問を抱くことが大切。例えば、腹痛を訴える利用者は、冷えたのか、食あたりか、薬が合わないのかいろいろ原因が考えられますが、それを疑問に思っただけで根拠を取り、問題解決していく必要があります。なお、この施設は誰でも見学が可能です。福祉に興味がある人や地域の人には気軽に訪れて利用者や関わっていただけたらいいですね。



毎日「ありがとう」と言われ、
笑顔が見れる仕事

3年前に事務職から転職しました。もともと何となく介護の仕事に興味はありましたが、大変というイメージがありました。でも、今は利用者から笑顔になってもらえ、学ぶことも多い仕事にやりがいを感じています。この仕事を経験しておくことは人生のプラスになります。少しでも興味があれば、一生続けると考えなくても、1回は飛び込んでみてほしいですね。

曾根川栄子さん
(介護員)



多様な利用者との関わりから
働きやすく楽しい施設づくりを

管理者として、職員には働きやすく、利用者にとっては楽しい施設をめざしています。食事には毎月のイベント食を導入し、誕生日のお祝いの外食も始めました。そうしたなかで利用者一人ひとりとさまざまな形で出会い、人生の最後に関われる仕事に大きな役割を感じています。とはいえ、難しい仕事ではなく、施設の垣根も高くないので、まずは気軽に寄っていただければいいですね。

小林新樹さん
(係長)



社会福祉法人の地域貢献を広げる

市町村域で協働の取り組み事例から

全国各地で市町村域での社会福祉法人共同による地域貢献が広がっております。県内では「信州あんしんセーフティネット事業」「長野県社会福祉法人経営者協議会」、長野県あんしん創

社会福祉法人の貢献活動の推進

県域での推進	市町村での推進	情報発信
信州あんしんセーフティネット事業 (長野県経営協)	市町村等社会福祉法人連絡会の設置促進	各法人の取り組みの推進、見える化
連携	伊那市・千曲市(検討)	調査の実施、事例集の発行等検討
県内社協公益事業あんしん創造ねっと		

造ねっと(長野県内の加入市町村社会福祉協議会)の二つがスタートしていますが、今後、市町村ごとに身近な地域の課題に社会福祉法人が協力して解決を目指す取り組みの定着が課題となっております。そこで、全国の先進的な事例を特集します。

1 社会福祉法人連絡会等を設立した他県の活動例

島根県安来市では、福祉なんも相談を起点に、生活困窮者等の就労に向けた社会参加・就労体験の受け入れなど制度の狭間のニーズに応える取組みを実践しています。

福岡県うきは市、大牟田市、嘉麻市等では、社会福祉法人が連携し、買い物送迎ツアーやクリーン(清掃)大作戦、ゴミ屋敷の片付け支援などそれぞれの地域の事情を踏まえた取組みを行っています。

兵庫県の神戸市では、垂水区社会福祉法人連絡協議会は災害復興住宅である「ベルテ名谷住宅」地域課題解決するために取り組んでいます。

2 東京都地域公益活動推進協議会の取り組み

東京都では、地域共生社会の実現に向け東京都地域公益活動推進協議会を設置して各社会福祉法人・地域の連携による取組みを積極的に進めております。詳しくは協議会のホームページをご覧ください。今回、次のページではその中の一つ大田区を取材しました。

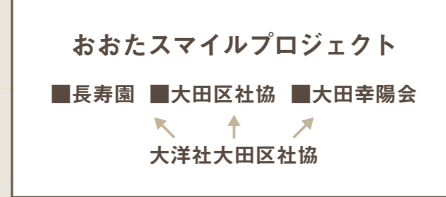


<https://www.tcsw.tvac.or.jp/koueki/index.html>

市区町村域で地域貢献活動に取り組んでいる、東京都大田区地域連携公益事業「おおたスマイルプロジェクト」を取材させていただきました！

発足きっかけ

母子生活支援施設を経営する社会福祉法人大洋社が、「生きる力を身につけられるような体験型の学習支援を行いたい」と考え単独法人では担いきれないので地元の社会福祉協議会にお相談し、社協のコーディネートのもと左の法人おおたスマイルプロジェクトがスタートしました。



■ おおたスマイルプロジェクトの事業内容について

おおたスマイルプロジェクトでは、平成27年10月に体験型の学習支援事業である「れいんぼう」をスタートしました。れいんぼうプロジェクトは右の図のように4つのプログラムで構成されています。一つ目の学ぶについては将来、自立して生活するために必要な「就労」につなげることを目標としています。二つ目の食べるについては1人で食事することが多い子などに、生きていくうえで大切な食べることに、食事作りや、人と一緒に食べる楽しさを体験をします。三つ目の動くについては、運動を通じて健康の大切さや、園芸活動を通じて命の大切さを体感することを目標としています。四つ目の体験するについては、社会的接点や経験が少ない子供について、近隣の大学見学や職場体験を通じて、子どもたちが自分の将来に夢や目的を持って生活できることをめざします。これらのプログラムは月2回の課題別学習会・調理体験と月1回の体を動かす活動または体験プログラムを実施しております。



左から長寿園 千葉さん/大田区社協 福本さん/大田幸陽会 佐藤さん/有隣協会 大竹さん/大洋社 近藤さん/大田区社協 根本さん



■ 実際にやってみて地域にどんな反応があったか

「れいんぼう」をやることで親子の関係がよくなり家族の会話が増えたという声がありました。親が食事を作っていて、子どもが自分から進んで料理の手伝いをするようになり食にも興味を持つようになってきたというエピソードや、一人親だとしても子供が一人で食事をするようになっていくなか、大勢で食事をする事で食べる料も増えたり、料理の好き嫌いがなくなったという声もききます。なによりひとり親の方の相談窓口にもなっており、地域の困った方とつながったという事が嬉しかったと担当者は語ってくれました。

■ 大田区社会福祉法人協議会との連携と今後のおおたスマイルプロジェクトについて

これからは、27年7月に立ちあがった35法人が加入している大田区社会福祉法人協議会と公益的な取組みへの課題を共有したり、その課題の解決に向けて協力して、スマイルプロジェクト2弾、3弾と実施していけたらいいと考えております。



長野県内公益事業

長野県あんしん創造ねっと (長野県内の加入市町村社会福祉協議会)	信州あんしんセーフティネット (長野県社会福祉法人経営者協議会)
加入 16 社協 実施内容 ○生活困窮者のための入居保証サービス ○ミルク等支援事業 ○生活困窮者のための(就職)身元保証 ○子どもの居場所づくり支援	実施内容 ○就職活動応援金付職場体験事業(プチバイト事業) ○就職支度金給付事業

WEB INFORMATION

長野県の福祉人材総合ポータルサイト「信州福祉・介護のひろば」を開設しました。



平成29年度より、長野県内の福祉・介護事業所のうち人材育成・職場環境の改善に取り組む事業所を長野県知事が認証する制度「信州福祉・介護事業所認証・評価制度」を進めております。(事務局：長野県社会福祉協議会)

この認証・評価制度で認証を受けた事業所を公開するために長野県の福祉人材総合ポータルサイト「信州福祉・介護のひろば」を開設しました。学生さんや求職中の方が、福祉・介護事業所で人材育成や職場環境の改善に取り組む事業所で長野県の認証を受けた事業所を検索することができる仕様となっています(3月より認証開始予定)。ホームページでは他にも長野県内の福祉・介護人材に関わる情報を広く発信しております。

福祉・介護のお仕事を支える人材の確保が厳しい状況ですが、「信州福祉・介護のひろば」を通じて、長野県民に福祉・介護のお仕事への正しい理解と興味・関心を持っていただき、福祉・介護のお仕事が働きがいのある職業と見られ選択していただけるような一助になればと考えています。

連絡先／長野県社会福祉協議会
福祉人材部 人材グループ



本会理事が所属する団体紹介!!

障がいがあってもなくても共に暮らせる社会のために

長野県手をつなぐ育成会 塚田なおみ



1952(昭和27)年に、知的障害児を持つ3人の母親が障害のある子の幸せを願って、教育、福祉、就労などの施策の整備、充実を求めて、仲間の親・関係者・市民の皆さんに呼びかけたことをきっかけに、精神薄弱児育成会(別名手をつなぐ親の会)が設立されました。

この東京で誕生した親の会の波は全国各地の同じ立場の親たちに広がり現在全国全県下に20万人の会員が所属するまでになりました。

長野県でも各地域で親の会が発足し、以来半世紀以上の活動は同じ境遇の子どもを持つ親から親へと広がり県下42の市町村に会があります。

それぞれの郡市区、市町村の単位で活動を展開しています。

早期発見、早期療育により、誰でも等しく成長の可能性を伸ばすことが出来る環境づくりを目指し全国と情報

を共有し活動を継続してきており、会発足以来、今日でも主要なテーマとなっています。

また、知的障がい者が生まれた地域で暮し続け、そこで人生を全うするために必要な支援はどのような支援なのか、親の高齢化と子の高齢化と差し迫った喫緊の課題ですが、地域の力を借りながら自分たちの力を活かせる地域作りに寄与できるよう研究討議もしています。

とりわけ地域活動では地域特有の問題を考えそれぞれの生活の中での問題点を検討し場合によっては居住の市町村の担当者と情報交換をし施策に反映しています。

当事者の会としての多くの要望が今日の障害者福祉の骨格をなしてきたことは大きな成果として自負するところですが、まだまだ課題のある中会員の高齢化の波を食い止めることが出来ていない現実、若い世代への会員獲得に苦心しているところです。

平成29年度 社会福祉施設 総合損害補償 しせつの損害補償

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の **事故・紛争円満解決のために!**

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

賠償事故		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
対人賠償(1名・1事故)		2億円・10億円	2億円・10億円
対物賠償(1事故)		2,000万円	2,000万円
受託・管理財物賠償(期間中)		200万円	200万円
うち現金補償限度額(期間中)		20万円	20万円
人格権侵害(期間中)		1,000万円	1,000万円
身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)		1,000万円	1,000万円
事故対応特別費用(期間中)		500万円	500万円
お見舞い等			
被害者対応費用(1名につき)		死亡10万円 後遺障害0.3-10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)	死亡10万円 後遺障害0.3-10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)
傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円	

◆ **29年度新設** 看護師の賠償責任補償(プラン1-①オプション2)

● この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

(SJK16-16919 2017.2.3作成)

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

平成29年度 **全国200万人加入!!**

保険金額 年間保険料(1名あたり)

ケガの補償	ケガの種類	プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,320万円	1,800万円
	後遺障害保険金		1,320万円(限度額)	1,800万円(限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
賠償責任	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ	
	葬祭費用保険金(特定感染症)		300万円(限度額)	
	賠償責任保険金(対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料(1名あたり)	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※)	(基本タイプ+地震・噴火・津波)	500円	710円

http://www.fukushihoken.co.jp

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険 送迎サービス補償 福祉サービス総合補償
 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険) (傷害保険) (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

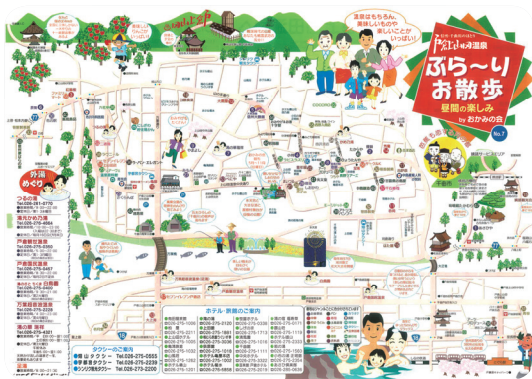
● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

(SJK16-16921 2017.2.3作成)

住民主体の福祉活動 地域づくりレポート

女将はコーディネーターで活動者



上：ぶら〜りお散歩マップは7版目。地域内の旅館や店などに置かれている。
下：「赤石の湯伝説」を基に地元のアーティストが作製してくれた木製の紙芝居。

善光寺詣りの精進落としの湯として親しまれ、「美白の湯」としても名高い戸倉上山田温泉。「戸倉上山田温泉おかみの会」は、旅館・土産屋・レストラン等の女将さんたち有志の集まり。長野新幹線が開通して1周年を迎えた時、みんなで地域のことを考えようと結成された。会費を集めて手作りした「ぶら〜りお散歩マップ」は、地域内の美味しいお店や遊び場等が記載され、観光客以外にも大人気。5～10月の毎週(日)に開催されている「千曲川青空市」(朝市)は周辺の農家や様々な人が交流する場。伝説を基に縁結びのモニュメントを作り、併せて公園整備も積極的に行ってきた。「私たちの願いはここを良くしたいということ。バラバラにやっているのではなく、みんなで力を合わせなくちゃ!」

女将を含めた地域住民ひとり一人の『何とかしなきゃ』という思いは、年月を経て課題が変化してもなお、静かに確実に様々な活動へとつながっている。

連絡先／千曲市社会福祉協議会 TEL 026-276-2687

今月の逸品

ともいき宝池和順が運営する「味遊カフェ」は、自家焙煎珈琲と手作りクッキー、季節を感じる色んなスイーツやランチをお出ししています。子供からお年寄りまで、気軽にのんびりとした時間が過ごせるふれあいカフェです。

社会福祉法人 上田明照会
ともいき宝池和順 味遊カフェ
〒388-8011 長野市篠ノ井布施五明2259
TEL 0268-27-6633 FAX 0268-23-5081



webでも
ご覧になれます

情報掲示板

県社協からのお知らせ

- 平成29年度市町村社協トップセミナー
日程／平成30年2月20日(火)13時00分～15時30分
会場／長野バスターミナル会館
問合せ先／社会福祉法人長野県社会福祉協議会
総務企画部 総務グループ
TEL / 026-228-4244

新着助成金情報

- 公益財団法人つなぐいのち 平成30年度対象助成事業
問い合わせ先／つなぐいのち基金
応募締切／平成30年1月22日
メール／entry@tsunagu-inochi.org
URL / <http://tsunagu-inochi.org/notice/application-for-grants/>
- JJCC 助成プログラム
問い合わせ先／
ジョンソン・エンド・ジョンソン 社会貢献委員会
応募締切／平成30年1月21日
TEL / 03-4411-6720
URL / <http://www.jjcc.gr.jp/notice/noticeProgram201712.html>

- ご感想、お問合せ、掲載希望等は下記へお寄せください。

長野県社会福祉協議会
総務企画部 総務グループ
TEL 026-228-4244 FAX 026-228-0130
E-mail soumu@nsyakyo.or.jp

webでも
ご覧になれます



ざわめくアート



『無題』 樋口 徹 (ひぐちとおる) 64歳 須坂市在住

絵を描こうといわれても、どうすればいいか困っていたご本人に、アートサポーターが『まる、さんかく、しかくを描いてみて。』と言われて画用紙に描きだした。『ではその白いところを好きな色で塗ってみようか。』と言われて、クレヨンで丁寧に塗り始めた。「なんだ。こんなことなら自分にもできるぞ。」と、だんだんと『まる、さんかく、しかく』の絵にはまりだした。ちょっとしたサポートで絵を描く楽しさを知り始めたご本人である。同じパターンの絵がどんどん出来上がっていくが、そこには一枚一枚不思議な世界が広がっている。この絵からあなたはどんなこと、ものを想像します?